

## 放課後等ディサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日： 令和5年 1月 27日

事業所名：こども発達さぼーとセンター るぼろ

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価		保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	定員規定は満たしています。活動やグループの状態に応じて棚、机等配置を変えるなどして使いやすいスペースの工夫を適宜しています。	はい 22 どちらでもない 1 いいえ 1 わからない 3	施設内はコロナの為入れないので分からない。	引き続き、活動に応じて必要なスペースを確保していきます。 また、施設内を見学していただける機会を作っていけるようにします。
	2 職員の適切な配置	1つのグループに2～3名の担当職員を配置し、お出かけ企画等の活動に応じて増員しています。	はい 24 どちらでもない 1 いいえ 1 わからない 1	施設内はコロナの為入れないので分からない。	引き続き、活動に応じて必要な職員を配置するとともに、個別での対応が必要な場合は職員内で連携をとってしっかり関わられるようにします。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	必要に応じて絵カードでスケジュールを提示したり、クッキングの手順を写真で提示したりしています。	はい 23 どちらでもない 1 いいえ 1 わからない 2	施設内はコロナの為入れないので分からない。	引き続き、個々に合った提示の方法を検討しながらわかりやすい環境・活動内容を提供していけるようにします。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	毎朝の清掃、除菌のためのふき取り、玩具の消毒を行っています。	はい 22 どちらでもない 2 いいえ 1 わからない 2	施設内はコロナの為入れないので分からない。	引き続き、活動前には環境を確認し、消毒などに気を付けて清潔な環境で活動できるように配慮していきます。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	月に1回の職員会議や5週目等の療育が休みの日を利用して業務改善の内容を検討しています。また、必要に応じて時間を作り会議の場を設けています。	/		
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	実施していません。	/		
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	職員がそれぞれ必要な研修に参加したり、職員同士でグループスーパービジョンを行っています。	/		
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等ディサービス計画の作成	各担当者が実際に子どもの姿を見たり保護者からの聞き取りを行いながら支援計画の作成を行っています。また月に1回の職員会議において支援方法についての相談ができる時間を設けています。	はい 23 どちらでもない 2 いいえ 1 わからない 1	・特徴をよく観察してくださって適切な内容になっていると思う・あゆと職員を変えるのをやめてほしい。保護者は不安とまた説明しないといけないという気持ちになる。	引き続き、子どもの姿を見たり保護者からの聞き取りを行いながら支援計画の作成を行っていき、保護者の方と現状の課題などを共有していきます。また、相談支援事業所と情報の共有をしていきます。
	3 児童発達支援計画又は放課後等ディサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	支援計画の中で専門用語を少なくし、できるだけ具体例を挙げるなどしてわかりやすく書けるように努めています。	はい 23 どちらでもない 2 いいえ 1 わからない 1	・あゆと職員を変えるのをやめてほしい。保護者は不安とまた説明しないといけないという気持ちになる。	活動の中で具体的な例を挙げながら実践できるように取り組んでいけるような内容にしていきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価		保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	職員が支援計画の目標を意識しやすいように、記録用紙と一緒に目標を書いた用紙を準備しています。	はい 25 どちらでもない 1 いいえ わからない 1	・あゆむと職員を変えるのをやめてほしい。保護者は不安とまた説明しないといけないという気持ちになる。	支援計画に記載した具体的な内容を実践していきながら、子どもの困りを軽減していきようにします。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	各グループで月間活動予定を立てることで活動の見通しを持ちながら、各グループの担当者と相談し詳細な活動内容を決定しています。	/		
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	長期休暇には、療育時間を変更し療育を実施しています。	/		
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	必要に応じて活動のある程度固定化して定着を図っていることもあります。グループによっては、子どもたちが計画を立てた活動について実行できるよう支援をしています。	はい 22 どちらでもない 1 いいえ わからない 2		引き続き、子どもの主体的な意見を取り入れながら期待や楽しみを持って活動に参加できるようにしていきます。安心感をもって来所できるように固定化している活動もあります。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	活動前に担当者同士で活動内容や役割を確認、相談してから活動を行っています。	/		
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	担当者間で療育終了後や時間を合わせて話し合い、子どもの気になった部分があれば次回どうするのか等の話しをしながら記録をとっています。	/		
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	記録を見ることで子どもの姿が捉えられるような日誌になるようにしています。それを基に支援の改善を考えています。	/		
11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	半年に1回支援計画の見直しを行っています。モニタリングは他事業所を含め、月に1回利用されている方の様子を共有しています。	/			

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価		保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へ参画	必要に応じて小集団や個別療育の担当者が担当者会議に参加しています。			
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施				
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備				
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	小学校の担任の先生が見学にきたり、担当者が小学校に訪問したりして子どもの状態や情報を共有を行っております。また、トライアングル会議に積極的に出席しています。			
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、				
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	必要な研修があれば積極的に他事業所と一連携をとっていきます。			
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	活動に応じて、児童館を利用させていただいたり、お買い物を通じて地域のスーパー等に行かせて頂いています。	はい 20 どちらでもない いいえ 3 わからない 2	・地域交流を深めるためにも、スーパーやコンビニに行って勉強するのもいいと思う。去年できた体験型施設を利用させてもらうのもいい経験になると思う。	引き続き、地域資源を利用しながら活動の幅を広げていきます。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	交流を持つ機会を作れていません。			

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
保護者への説明責・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	・毎回契約時に重要事項説明書で説明をしています。契約内容の変更時には変更内容をお伝えしています。療育終了後のフィードバックやメール配信で毎回支援内容をお伝えしています。	はい 24 どちらでもない 1 いいえ わからない		引き続き、保護者の方が安心して利用してもらえるよう契約内容の変更があった時には説明会を開かせていただきます。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	支援計画を実際に保護者の方と読みながら内容の確認を行っています。	はい 25 どちらでもない いいえ わからない		引き続き、支援計画を実際に保護者の方と読みながら内容の確認を行っています。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	年に数回親講座を実施し、保護者の方に参加していただいています。保護者のニーズに応えられるように内容も工夫しています。	はい 23 どちらでもない 1 いいえ わからない 1	・今年度になって多くの講座が開かれている ・親講座はたまに話を伺うがなかなか日が合わず参加が出来ておらず残念。機会があれば参加を検討したい。	引き続き、保護者のニーズに合わせた講座を開催できるように計画していきます。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	毎回小集団療育終了後に、保護者の方に対してフィードバックを行ったり、メール配信でお伝えをしています。	はい 20 どちらでもない 4 いいえ 1 わからない	・日頃からなかなか伝えきれずに次の週になってしまう。 ・半年に1回程度のモニタリングを設けてもらったり、活動の都度今日の作業報告が細かく写真付きである。家でも見れない姿なので助かっている。	必要に応じて、個別で面談の機会を設けていながら共通理解に努めていきます。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	保護者の方から相談があったときには面談の時間を設定し、個別でお話をさせていただいています。連絡事項や相談がある時には連絡帳を準備し記入して頂いています。	はい 20 どちらでもない 5 いいえ わからない	・モニタリング助かっている	必要に応じて、個別で面談の機会を設けていながら共通理解に努めていきます。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	保護者会を設けていません。親講座の時に保護者同士で話をする機会を作っています。今年度は保護者交流会を企画しています。	はい 17 どちらでもない 3 いいえ わからない 5	・コロナ禍で計画を立てるのが困難だと思うが、計画を立ててくれていることに感謝している。	引き続き保護者交流会を企画しながら、保護者同士の交流を図っていきます。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	重要事項説明書に記載しており、契約時にもお話をしています。苦情があったときには当日に保護者と面談を行ない対応しています。	はい 19 どちらでもない いいえ 1 わからない 5	・したことがない為わからない ・苦情を言ったことがないのでわからない ・以前、支払方法が変更になる時の手続きで他人のものを手渡され、謝罪がなかった。	保護者の方が不快な思いにならないように丁寧な説明を心掛けていきます。苦情があった際には当日保護者と面談を実施し、謝罪と説明を行います。
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	小集団終了後にフィードバックしたりメール配信をしてお伝えをしています。写真でお伝えすることもあります。	はい 23 どちらでもない 1 いいえ 1 わからない	・フィードバックは全体的な物なので各子どもの様子も教えて欲しい ・メールになって詳しく分かりやすくなったと思う	引き続き、口頭やメールを通してご様子をお伝えしていきます。必要に応じて、個別に時間を設けてご様子をお伝えしていきます。
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	毎月るぼる便りをメールで配信し、予定や各グループの活動紹介をしています。	はい 25 どちらでもない いいえ わからない	・毎月楽しみにしている	引き続き、毎月るぼる便りをメールで配信し、予定や各グループの活動紹介をしていきます。
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	契約時に個人情報の取り扱いについて説明し了承を得たうえで同意書にサインを頂いています。職員の意識向上にも気を付けています。	はい 23 どちらでもない いいえ 1 わからない 1	・他人の個人情報が書いてある資料を受け取ったことがあり怖かった	個人情報の管理を徹底し、安心してご利用して頂けるように努めていきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価		保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	・はおとの森こども園と一緒にマニュアルを作成し、重要事項説明の中でお知らせしています。各マニュアルに沿って、定期的に研修を行っています。	はい 19 どちらでもない 3 いいえ 1 わからない 3	・書類上で説明は受けたが、アレルギーが出た時に担当医や保護者に連絡がなかったのはおかしいと思う。アレルギー調査をした方がいいと思う。	契約時にアレルギー調査をしています。アレルギーの診断が出ている食品や製品は除去できるように努めていきます。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	毎月1回、施設全体で様々な場面を想定し訓練を実施しています。放課後ディサービスの時間に実施することは少ないですが、職員はスムーズに対応できるように訓練を行っています。	はい 14 どちらでもない 3 いいえ 1 わからない 7	・みんなで練習した方がいいと思う。	るぼろ便りにて不審者・火災・地震などの訓練をしたときにはご様子をお伝えしています。職員は月に1回、様々な状況に応じた訓練を行っています。
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	虐待防止に関する責任者を選定し、虐待の防止を啓発・普及するための研修を実施しています。	/		
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	契約時に説明しています。身体拘束に対する考え方、受け止め方の共通理解をし、必要な場合においては適切な手順で対応します。	/		
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	契約時、アレルギーについてチェック記入していただき、クッキングの際には、保護者の方に使用する食材の中でアレルギーがないかの確認をしています。	/		
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリとした場面があったときには報告、記載し、リスクマネジメント会議で職員に周知します。	/		
満足	1 子どもは通所を楽しみにしているか		はい 22 どちらでもない 2 いいえ 1 わからない	・どこに行くのも基本は嫌がるが行けば楽しんでいる ・感謝している	今後も保護者や子供たちに安心してご利用いただけるように努めていきます。子ども達が成長する過程の中で、るぼろでの経験を活かせるように努めます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
度	2 事業所の支援に満足しているか		はい 23 どちらでもない 2 いいえ わからない	・子どもは楽しんでいっているの で感謝しているが、個人情報の 管理をしっかりしてほしいし、ア レルギーの把握などはきちんとして ほしい。体調の変化があった時に は保護者にすぐ連絡が欲しい。 る過程の中で、なるべく経験を活かせるような 活動を取り入れていきます。